

さる1月28日、都内港区にあるANAコンチネンタルホテル東京において、共同組合 日本映像事業組合(J-VIG)主催による第16回「ヤング映像クリエイターを励ます賞」表彰式が開かれ、経済産業大臣賞に株式会社日テレアックスオンの宮良純子さん(受賞作 日本テレビ:オトタビ#4-青窈編)が輝いた。優秀賞には株式会社トスプランニングの轟千恵子さん(同 NHK総合:天使のアンゲル)、株式会社日テレアックスオンの香取真央さん(同 日本テレビ:読売巨人軍80周年特別番組 独占密着!原辰徳の王道 栄光の轍)、株式会社メディアミックス・ジャパンの木曾貴美子さん(同 関西テレビ:連続ドラマ ブラックプレジデント)の3名が受賞したほか、努力賞には株式会社タイムワープの稲本亜希子さん(同 BS-TBS:TIMELESS STYLE OF DVF)、ホープ賞には株式会社日テレアックスオンの朱秀美さん(同 NHKBSプレミアム タイムスパイラル)が受賞した。受賞クリエイター6名中5名が女性と、女性の持つ瑞々しい感性が映像製作の現場で一際輝きを増す結果となったもので、受賞者はそれぞれ恒例となった副賞「バランタイン30年もの」を手始めにこやかだった。

共同組合 日本映像事業組合(J-VIG)

「ヤング映像クリエイターを励ます賞」授賞式



第16回 ヤング映像クリエイターを励ます賞

◆経済産業大臣賞

株式会社日テレアックスオン
宮良純子さん(日本テレビ:オトタビ#4-青窈編)

◆優秀賞

株式会社トスプランニング
轟千恵子さん(NHK総合:天使のアンゲル)
株式会社日テレアックスオン
香取真央さん(日本テレビ:読売巨人軍80周年特別番組 独占密着!原辰徳の王道 栄光の轍)

株式会社メディアミックス・ジャパン
木曾貴美子さん(同 関西テレビ:連続ドラマ ブラックプレジデント)

◆努力賞

株式会社タイムワープ
稲本亜希子さん(BS-TBS:TIMELESS STYLE OF DVF)

◆ホープ賞

株式会社日テレアックスオン
朱秀美さん(NHKBSプレミアム:タイムスパイラル)

「ヤング映像クリエイターを励ます賞」は共同組合 日本映像事業組合加盟各社の若い映像クリエイターたちの才能をさらに伸ばすための場として、2000年、当時の日本映像事業共同組合の創立5周年記念事業、そして協会加盟の組合企業100社突破を記念して設けられた賞。

ヤング映像クリエイターとは、組合加盟企業の正社員、および契約社員で、番組制作に責任を持つ30才以下のプロデューサー、ディレクターを対象としている。これまで計15回、延べ71名の「若手クリエイター」たちが表彰されてきた「若手の登竜門賞」。

第5回から経済産業省の発案で「経済産業大臣奨励賞」が創設され、この第16回から「経済産業大臣賞」として受賞作品の中で最も優秀な作品に贈られることになった。

受賞者に贈られるトロフィは数々の雑誌、書籍を発行している株式会社KADOKAWAエンタープライズブランドカンパニーから、第一回の表彰から、

受賞した「若手クリエイター」はいずれも映像製作の第一線で活躍、数々の珠玉作品を世に送り出している。また、今回の受賞者をはじめ、多くの若いスタッフたちの良い手本として、業界を牽引している、という。

テンツ課 課長補佐である望月孝洋氏が登壇した。審査過程・高評について、澤田隆治審査委員長がマイク前に立った。

澤田委員長は「16回を迎えたヤング映像クリエイターを励ます賞。応募作品の多さに加え、長尺の作品、60分

人財が育つだろう」といわれることも少なくなかった。「若手に番組を任せるといって、膨大に発生する作業量、(きつい仕事)である」と。ただ、私達の時代と違い、今の若者たちは生まれた時から家の中にテレビがあった。テレビ好きな人たちが「こんな番組を作りたい」と思っている。今度の受賞者の中には、今年少、ホープ賞らしい作品だった」と語る。

澤田委員長は「私が携わった初めてのドラマ作品。製作と同時にドラマのイロハを学んでいった」「原作は書籍化する前のWEB小説。純粋に面白く、もっと多くの方に伝えたい、企画書を書いた。形にできたことは大変嬉しい」と続けた。

若手映像クリエイターの登竜門 人材育成・多彩な才能を発掘

「ヤング映像クリエイターを励ます賞」は共同組合 日本映像事業組合加盟各社の若い映像クリエイターたちの才能をさらに伸ばすための場として、2000年、当時の日本映像事業共同組合の創立5周年記念事業、そして協会加盟の組合企業100社突破を記念して設けられた賞。

ヤング映像クリエイターとは、組合加盟企業の正社員、および契約社員で、番組制作に責任を持つ30才以下のプロデューサー、ディレクターを対象としている。これまで計15回、延べ71名の「若手クリエイター」たちが表彰されてきた「若手の登竜門賞」。

第5回から経済産業省の発案で「経済産業大臣奨励賞」が創設され、この第16回から「経済産業大臣賞」として受賞作品の中で最も優秀な作品に贈られることになった。

受賞者に贈られるトロフィは数々の雑誌、書籍を発行している株式会社KADOKAWAエンタープライズブランドカンパニーから、第一回の表彰から、

受賞した「若手クリエイター」はいずれも映像製作の第一線で活躍、数々の珠玉作品を世に送り出している。また、今回の受賞者をはじめ、多くの若いスタッフたちの良い手本として、業界を牽引している、という。

テンツ課 課長補佐である望月孝洋氏が登壇した。審査過程・高評について、澤田隆治審査委員長がマイク前に立った。

澤田委員長は「16回を迎えたヤング映像クリエイターを励ます賞。応募作品の多さに加え、長尺の作品、60分

人財が育つだろう」といわれることも少なくなかった。「若手に番組を任せるといって、膨大に発生する作業量、(きつい仕事)である」と。ただ、私達の時代と違い、今の若者たちは生まれた時から家の中にテレビがあった。テレビ好きな人たちが「こんな番組を作りたい」と思っている。今度の受賞者の中には、今年少、ホープ賞らしい作品だった」と語る。

澤田委員長は「私が携わった初めてのドラマ作品。製作と同時にドラマのイロハを学んでいった」「原作は書籍化する前のWEB小説。純粋に面白く、もっと多くの方に伝えたい、企画書を書いた。形にできたことは大変嬉しい」と続けた。

「ヤング映像クリエイターを励ます賞」は共同組合 日本映像事業組合加盟各社の若い映像クリエイターたちの才能をさらに伸ばすための場として、2000年、当時の日本映像事業共同組合の創立5周年記念事業、そして協会加盟の組合企業100社突破を記念して設けられた賞。

ヤング映像クリエイターとは、組合加盟企業の正社員、および契約社員で、番組制作に責任を持つ30才以下のプロデューサー、ディレクターを対象としている。これまで計15回、延べ71名の「若手クリエイター」たちが表彰されてきた「若手の登竜門賞」。

第5回から経済産業省の発案で「経済産業大臣奨励賞」が創設され、この第16回から「経済産業大臣賞」として受賞作品の中で最も優秀な作品に贈られることになった。

受賞者に贈られるトロフィは数々の雑誌、書籍を発行している株式会社KADOKAWAエンタープライズブランドカンパニーから、第一回の表彰から、

受賞した「若手クリエイター」はいずれも映像製作の第一線で活躍、数々の珠玉作品を世に送り出している。また、今回の受賞者をはじめ、多くの若いスタッフたちの良い手本として、業界を牽引している、という。

テンツ課 課長補佐である望月孝洋氏が登壇した。審査過程・高評について、澤田隆治審査委員長がマイク前に立った。

澤田委員長は「16回を迎えたヤング映像クリエイターを励ます賞。応募作品の多さに加え、長尺の作品、60分

人財が育つだろう」といわれることも少なくなかった。「若手に番組を任せるといって、膨大に発生する作業量、(きつい仕事)である」と。ただ、私達の時代と違い、今の若者たちは生まれた時から家の中にテレビがあった。テレビ好きな人たちが「こんな番組を作りたい」と思っている。今度の受賞者の中には、今年少、ホープ賞らしい作品だった」と語る。

澤田委員長は「私が携わった初めてのドラマ作品。製作と同時にドラマのイロハを学んでいった」「原作は書籍化する前のWEB小説。純粋に面白く、もっと多くの方に伝えたい、企画書を書いた。形にできたことは大変嬉しい」と続けた。

経済産業大臣賞には宮良純子さん 映像現場で「女性の感性」一際輝く

宮良純子さんの作品「オトタビ#4-青窈編(日本テレビ)」。

「旅」する、音楽ドキュメンタリー番組で、第4回の「旅人」は歌手の二子玉川さん。都心の渋谷、二子玉川など思い出の地を散策、自身が聴きたい音、音がもたらす様々な思い出が映像とともに紡がれている作品で、ドキュメンタリーらしいライブ感も強い。

澤田委員長は「オトタビ」という番組は、幾度か見る機会があった。この作品は大変心を動かされた。映像と音が非常にマッチしていること、そして見終わった後、私に『全書』を買いに行かせる強い思いが伝わった」と語った。

澤田委員長は「オトタビ」という番組は、幾度か見る機会があった。この作品は大変心を動かされた。映像と音が非常にマッチしていること、そして見終わった後、私に『全書』を買いに行かせる強い思いが伝わった」と語った。

第一回「特別功労 会長賞」受賞者(50音順)

株式会社アップフロントグループ
株式会社アクシーズ
株式会社アズバース
株式会社アバンズゲート
アルゴ・ピクチャーズ株式会社
株式会社泉放送製作
イマジン株式会社新日放
株式会社エーステレビ
株式会社エス・フィールド
株式会社エムファーム
株式会社オイコーポレーション
株式会社クリーク・アンド・リバー社
クリエイティヴ・コア株式会社
株式会社ケーブルテレビ山形

丹羽飛宇馬氏
本橋圭太氏
加藤理美氏
荒木太司氏
熊谷睦子氏
安藤光一氏
出口さゆり氏
佐藤英行氏
西村隆志氏
日野 憲氏
植木栄次氏
小柴亨之氏
正木友美子氏
元木秀雄氏
伊藤 浩氏

株式会社ザ・ワークス
株式会社ジッピー・プロダクション
株式会社スーパーテレビジョン
株式会社スポット
株式会社セップ
株式会社創輝
株式会社タイクス
株式会社タイムワープ
テレビ朝日映像株式会社
株式会社テレビ朝日クリエイト
株式会社テレビシティ
株式会社テレビ東京アート
株式会社テレビ東京製作
株式会社テレビ東京ミュージック
株式会社ディー・エヌ・エー

吉田雅司氏
福井亮一氏
中川健太郎氏
佐藤賢治氏
西川桂右氏
木村亜貴子氏
加藤和廣氏
吉川 孝氏
渡辺 修氏
戸枝誠憲氏
島崎道也氏
本橋智子氏
田中秀樹氏
佐々木 洋氏
河合貴之氏

株式会社トップシーン
株式会社東京サウンドプロダクション
株式会社東北新社
株式会社トラストネットワーク
株式会社ドリマックス・テレビジョン
株式会社日テレアックスオン
株式会社ヌーベルバーグ
ヌーベルメディア株式会社
株式会社ビジュアルコミュニケーションズ
放送芸術学院専門学校
株式会社マイ・プラン
株式会社メディア・バスターズ
株式会社メディアミックス・ジャパン
株式会社ワイズ・プロジェクト

宮城達也氏
宗像竜大氏
坂部康二氏
小林昭旨氏
高野英治氏
阪野 修氏
斑目達也氏
今里幸弘氏
岩堀義夫氏
森 晴美氏
柏木正勝氏
鈴木伸嘉氏
浅井千瑞氏
澄田憲親氏